

陸上競技場や補助競技場を活用した合宿誘致も検討していく。

大柴 できるだけ早く策定し、多くの県民に利用してもらうことが大切だと思うが、事業スケジュールはどのようになっているのか。

09 | ドローンの活用について

大柴 政府の「未来投資戦略2017」をはじめ、県でもドローンの活用を進めているが、県のドローンの活用実績はどうなっているのか。

政策企画課長 これまで業者に委託し、観光PRのプロモーションビデオの撮影や富士山科学研究所での植生のモニタリング、富士山登山の安全確認、リニア見学センターなどでの撮影にドローンを活用している。

大柴 石川県の日本航空学校を視察した際、鳥をドローンで追い払っており、その効果を感じた。県でも防災や測量、農業などで活用が期待されるが、一方で使い方によっては危険だと感じた。
現在、ドローンの免許制度はないが、安全な飛行にはルールを守る必要がある。ドローンを取り巻く現状を伺いたい。

政策企画課長 航空法の中でいくつか規制があり、150メートル以上の空域や人口集中地区、空港周辺では飛行が禁止されている。

リニア環境未来都市推進室長 策定期間は他県などの事例から1年から1年半を要し、予算と併せて繰越明許費の設定をお願いした。スケジュールは適切な財政運営に考慮し、意見をうかがいながら検討する。

また、目に見える範囲を超えた所での飛行や夜間飛行、人が大勢集まるイベントの上空飛行なども航空法と併せて国土交通省の許可が必要となる。

大柴 ドローンの技術講習は日本航空学校をはじめ、他の民間団体で行っているが、金額もまちまちであり、ある程度統一することが望まれるが、どのように考えているのか。

政策企画課長 技術講習を行う民間団体は国土交通省のホームページに掲載されており、統一的な基準はないが、習得できる技術項目が示され、安全飛行に対する研修が行われていると承知している。

大柴 県民の安全・安心の向上や建設、農業分野での労働力不足に對してもドローンは有効だが、県の活用に向けた取り組みを伺いたい。

政策企画課長 5月から庁内検討会を設け、県内外の先進的事例などを参考に、県としての活用を検討していく。



平成29年12月定例総務委員会会議録要旨

10 | リニア中央新幹線の工事の進捗状況について

大柴 リニア中央新幹線の工事に関し、用地測量や物件調査などの繰越明許費がずれ込んでいるが、何故なのか。また、用地の取得現状はどうなっているのか。

リニア交通局長 JR東海が行う導水路の付け替え協議で、道路や河川の管理者、自治会などの意見を反映しながら行っているため、用地測量や物件調査業務で不測の日数を要している。現在、本線区間の約180人と交渉する予定となっている。

大柴 JR東海と県の役割分担はどうなっているのか。

リニア交通局長 事業用地はJR東海が確定するため、JR東海が各地区への事業説明会や用地測量、物件調査を行い、県は地権者に対して補償

償内容の説明などを行う交渉業務を行っている。

大柴 県は繰越明許費を設定する経費内容を民間の補償コンサルタントに再委託するが、どのような考えなのか。

リニア交通局長 JR東海との協定で平成33年度までに用地取得を完了しなければならず、迅速かつ円滑に用地取得を行うためにはノウハウを持った民間会社への再委託が必要となる。

大柴 新聞報道などで大林組の事件が話題になっているが、県はどの程度把握し、スケジュールに遅れは生じないのか。

リニア交通局長 JR東海に説明を求めたところ、現状では報道範囲内でしか答えられないという回答であり、県はスケジュールに遅れがないよう強く要望するとともに、事件についても再度、情報提供を求めていく。

写真で見る 大柴邦彦の 地域の 活動報告



■北杜市明野町浅尾ダイコン祭り(平成29年11月)



■北杜市新年互礼会(平成30年1月6日)



■北杜市成人式(平成30年1月7日)

写真で見る 大柴邦彦の 地域の 状況報告



■ジュニア障害馬術競技大会が平成30年開催予定



■ハケ岳スケートセンターの施設の存続が決定したので今後の在り方を検討していく



■河川内の樹木の伐採や砂防施設の点検

山梨県議会議員

大柴邦彦 議会レポート

Vol.14

2018年2月

県民の皆様と
同じ夢を追い求めます



Ooshiba Kunihiko
hokuto

発行元 大柴邦彦

Photo : ハケ岳

諸課題克服と地域活性化、 改めて挑戦 新時代に実現する 好材料をフル活用へ

平成30年の新しい年を迎えました。

とりわけて、来年には「平成天皇」陛下の生前ご退位により、新たな元号による新しい時代がスタートすることになりました。県議会議員の私にとっても、残り1年余となった本年は、地域の活性化を目指して、さらなる取り組みに挑戦しなければという思いを強くしております。

平成の約30年を振り返る時、様々な変化を痛感いたします。中でも私たちの暮らしてきた北巨摩郡は「平成の大合併」により、須玉、明野、高根、長坂、小淵沢、大泉、白州、武川の町村によって「北杜市」として生まれ変わりました。その変遷の中で、様々な課題も生まれ、とくに少子高齢

化による人口減少問題は、山梨県全体の懸案にもなっています。日本全体としての課題解決への道は厳しいものとなっていますが、新しい時代には、本県ではリニア中央新幹線、中部横断自動車道の開通などが実現します。昨年末の民間調査の「住んでみたい地域」では北杜市が全国1位という報道もありました。本年もこれらの材料をもとに地域の活性化へ向けての取り組みに挑戦していく決意です。皆さんからのご意見をお待ちしております。

山梨県議会議員

大柴 邦彦

〒408-0202 山梨県北杜市明野町小笠原3324

TEL 0551-25-2560

E-Mail: info@ooshiba-kunihiko.jp

http://ooshiba-kunihiko.net/

大柴 邦彦



